犬童議員（民主県政会）

平成 26 年３月４日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）特別支援学校の送迎バスにおける児童虐待への対応について

昨日，明らかになった呉特別支援学校の送迎バス内で起きた添乗員による児童虐待について，事実ならば，誠に遺憾である。

事件の経緯と今後の再発防止策，委託業者教育，児童生徒や保護者への説明等について，教育長の所見を伺う。

（答）

今回の事件につきましては，児童生徒，保護者の皆様に対し，大きな不安を与えましたことについて，大変重く受け止めているところでございます。

事件の経緯につきましては，1 月 30 日に呉特別支援学校小学部の保護者から学校に，スクールバスの添乗員が子供を虐待しているという相談がございました。

このことを受け，学校は，スクールバスの委託業者に事実関係の調査を求め，当該添乗員の添乗を控えるよう申入れを行うとともに，このことについて呉警察署に相談したところでございます。

昨日の呉警察署の発表によりますと，この添乗員が，平成 26 年 1 月 15 日，午前８時 15 分頃，広島県安芸郡府中町から広島県安芸郡海田町に向かうスクールバス車内において，被害児童の口元にガムテープを貼り付けたという容疑で逮捕されました。

この事件を受けまして，呉特別支援学校におきましては，本日，保護者等に対して，文書で事案の経緯を説明するとともに，児童生徒のわずかな変化も含めて気づきがあればすぐに連絡していただくよう依頼することとしております。

事件の詳細について，原因や問題を明らかにして，適切な対応を考えて参ります。

また，教育委員会におきましては，これまでも，障害のある児童生徒の通学に当たっては，学校が委託業者と定期的に会議をもって指導してきたところでございますが，今回の事件を受け，学校と委託業者との連携を一層強化するとともに，一人一人の児童生徒の障害の特性に応じて，実際の場面でどのように対応するかについての研修を早急に行うことにより再発防止に努めて参ります。